

2007 年 4 月 10 日
(社) 日本ガス石油機器工業会

ガス・石油燃焼機器に関する重大製品事故調査

(2007 年 3 月に報告のあった事故 : 追加分)

(社) 日本ガス石油機器工業会では、消費者保護の観点から、ガス・石油機器の製品事故に伴う消費者への危害や損害を防止するため、ガス・石油燃焼機器の事故情報の収集と情報提供、重大製品事故の報告並びに公表などの事故対策を行なってまいりました。このほど、ガス機器は第 2 回目、石油機器は第 3 回目の報告として、2007 年 3 月に会員会社から報告のあったガス・石油燃焼機器に関する重大製品事故 (死亡事故、重傷病事故、身体欠損、一酸化炭素 (CO) 中毒、火災) に該当する事故事例を以下の通り公表いたします。

1 . ガス・石油燃焼機器に関する重大製品事故報告

(2007 年 3 月に報告のあった事故 : 追加分)

石油機器 33 件 (人的被害 なし)

ガス機器 29 件 (人的被害 死亡 4 件 4 名、重傷病 1 件 1 名、
CO 中毒 3 件 12 名)

2 . 工業会が収集した会員各社からの事故情報は、今後、当工業会内で分析を行い、事故の再発防止のために活用していく予定です。

以上

(本発表資料のお問い合わせ先)
社団法人 日本ガス石油機器工業会
東京都千代田区神田多町 2 - 1 1
石油機器担当 岸 智彦
(E-mail : tomohiko_kishi@jgka.or.jp)
ガス機器担当 尾身健二
(E-mail : kenji_omi@jgka.or.jp)
TEL 03 (3 2 5 2) 6 1 0 1
FAX 03 (3 2 5 2) 6 1 0 5

石油燃焼機器に関する重大事故調査（2007年3月判明分）

No	メーカー名	事故発生年月日	品 目	型式機種	被害 区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備 考	事故発生 場所		
								内容	該当するものに○を入力して下さい					
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中	
1	(株)コロナ	2007/3/27	石油ファンヒーター	FH-S323DX		点火後、吹き出し口から白い煙と炎が出た。部屋のカーテン、壁に燃え移り、消防により消火。	20年以上	北九州消防局にて立ち会い調査し、原因調査中			○		福岡県	
2	(株)長府製作所	2007/3/19	石油ふろがま	JPK-N		機器、トイレなど約20m2焼損 消火時に少し火傷	10年以上	消防署にて立合い検証したところによると、10年前廃品を見つけてきて自分で取り付けし、以前より1回で着火せず2～3回リセットして使用していた。浴槽栓が完全に閉まっていなかったための空焚きと推定。		○			岩手県	
3	(株)ノーリツ	2007/3/15	ふろがま付石油給湯機	OTQ-302Y		器具内部焼損	7年0ヶ月	〇リング劣化により油漏れ、引火	○				リコール製品	長野県
4	(株)コロナ	2007/3/14	ふろがま付石油給湯機	UKB-G4010AHTR	-	排気吹き出し口より火の粉が出、近所の人が消火器で消火。	5年5ヶ月	ダンパーモーターの故障で、燃焼異常となり、熱交換機内に煤が付着し、黒煙と火の粉が発生したと思われる。内部の焼損や拡大被害はなし。	○					新潟県
5	(株)ノーリツ	2007/3/14	ふろがま付石油給湯機	ORM-240Y		器具内部焼損	20年0ヶ月					調査中		茨城県
6	(株)ノーリツ	2007/2/25	ふろがま付石油給湯機	OTQ-302Y		器具内部焼損	9年6ヶ月	〇リング劣化により油漏れ、引火	○				リコール製品	長野県
7	(株)ノーリツ	2007/2/22	石油給湯機	OQB-403Y		器具内部焼損	6年7ヶ月	〇リング劣化により油漏れ、引火	○				リコール製品	神奈川県
8	(株)長府製作所	2007/2/20	石油ふろがま	H2S		機器焼損 ホーローバスの一部変色	12年	空焚き（焼却兼用風呂釜）		○				京都府
9	三菱電機(株)	2007/2/19	石油エアコン	MSHB-2201R4		室外機焼損	約24年	室外機のみ焼損。 石油燃焼器部の異常は無し。焼損範囲は中央部に集中、その範囲内での電気品及び電気配線には異常が確認できないことその他の発火原因となり得る各電気部品にも異常が確認できないことより、出火源はエアコンでないものと推定。 上記内容を消防に説明、了承された。	製品起因でない					栃木県
10	(株)トヨトミ	2007/2/19	石油ストーブ	RCA-883		平成19年2月19日午後5時石油ストーブに点火し、6時20分頃火力を小さくして夕食をするため外出、7時頃もどけると石油ストーブと近くにあったソファ、カーテンが燃えていたので水をかけて消火する。	不明	灯油タンク内及び、製品内に使用した燃料が残っており、調査した東宇陀消防署ではその臭いと色からガソリンが混入している可能性が高いと見ており、灯油と間違えてガソリンを灯油タンクに給油してしまったためとみている。		○				奈良県
11	(株)長府製作所	2007/2/17	石油ふろがま	SB-7C		機器焼損 床面が燃えた 壁面と隣の扉外装に煤付着	約27年*	正規ではない灯油専用バーナーを焼却兼用風呂釜の焚き口（開口部が広い）に差し込んで使用していたため、接続部から炎が溢れたものと推定		○			*製品の使用期間は製造日より推定	奈良県
12	東陶機器(株)	2007/2/15	石油給湯機	RPH40KE		器具及び器具周辺部を焼損	約10年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○				リコール製品	北海道

注1：事故発生年月日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号... 死亡事故、 重傷病事故（治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病）又は後遺障害事故、 一酸化炭素中毒事故（医師の診断が下されたもの）、 火災（消防が火災として確認したもの） 1

№	メーカー名	事故発生年月日	品 目	型式機種	被害 区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因			備 考	事故発生 場所	
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用			原因不明または調査中
13	東陶機器(株)	2007/2/13	石油給湯機	RPH32KF		器具及び器具周辺部を焼損	約10年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	北海道
14	東陶機器(株)	2007/2/13	石油給湯機	RPH40KSS		器具焼損	約9年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	茨城県
15	(株)長府製作所	2007/2/13	石油ふろがま	JPM		家屋全焼 人的被害無し	27年	約2週間前から着火音がしない、かつ油臭いのを承知ながら使用。当日朝スイッチを入れた後、気付いたら（10分くらいか）釜から火が出ていた。排煙目的で窓を開けた所、一気に燃え上がった。			○		福島県
16	三菱電機(株)	2007/2/8	石油ファンヒーター	KD-SX524		住宅全焼	約8年	警察より当該製品の火災に関する照会があった。			○		神奈川県
17	(株)トヨトミ	2007/1/31	石油ファンヒーター	LC-U32		平成19年1月31日午前6時頃自宅の居間で点火し、9時20分頃点火したまま外出、9時30分頃隣家より家から火が出ているとの連絡を受ける。消防へは隣家の方が通報。居間と台所を焼損する	不明	火元と思われるものが石油ファンヒーターしかないが火災に至るまでの経緯に不明な点も多く、現在「日本科学鑑定株式会社」にて調査中。			○		福岡県
18	(株)コロナ	2007/1/25	石油ストーブ	SX-24		洗面台付近で使用していた石油ストーブから出火し、3階建て住宅を全焼	約3年	大阪N I T Eでの調査では、本体外からのもらい火ではないかと判断			本体外からのもらい火		大阪府
19	(株)ノーリツ	2007/1/23	ふろがま付石油給湯機	OTQ-302SAY		器具内部焼損	8年3ヶ月	〇リング劣化により油漏れ、引火	○			リコール製品	長野県
20	(株)長府製作所	2007/1/21	ふろがま付石油給湯機	JIB-7SG		機器焼損 壁が一部焦げた	16年9ヶ月	燃焼不良等により、風呂側の熱交換器の煤詰まりがひどく、また、穴あきが見られたことが原因と推定			○		東京都
21	東陶機器(株)	2006/12/31	石油給湯機	RPH40KSS		器具内一部焼損	約8年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	富山県
22	東陶機器(株)	2006/12/31	石油給湯機	RPH40KE		器具及び器具周辺部を焼損	約8年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	茨城県
23	東陶機器(株)	2006/12/25	ふろがま付石油給湯機	RPE32KE		器具内一部焼損	約10年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	静岡県
24	(株)コロナ	2006/12/19	石油ストーブ	RX-221		木造2階建て店舗兼住宅から出火し、1階店舗部分約4.4㎡を焼いた。	約3年	ストーブの輻射熱で近くの可燃物に着火・延焼したものと思われる		○			岩手県
25	東陶機器(株)	2006/12/07	石油給湯機	RPH40KF		器具内一部焼損	約9年					リコール製品 (メンテミス)	長崎県

注1：事故発生年月日の月日が不明のケースは「-」と表示

注2：被害区分番号... 死亡事故、 重傷病事故（治療に要する期間が30日以上を負傷・疾病）又は後遺障害事故、 一酸化炭素中毒事故（医師の診断が下されたもの）、 火災（消防が火災として確認したもの） 2

№	メーカー名	事故発生年月日	品 目	型式機種	被害 区分 (注)	事故概要	製品の 使用期間	事故原因				備 考	事故発生 場所
								内容	該当するものに○を入力して下さい				
									製品起因	誤使用	原因不明または調査中		
26	東陶機器(株)	2006/11/28	石油給湯機	RPH31VE		器具内一部焼損	約15年	お客様の部品調整ミスによるもの		○			石川県
27	(株)コロナ	2006/11/24	石油ストーブ	SX-E270WY		ストーブを消火した後カートリッジタンクに給油し、本体にセットしようとしたところ、タンクから灯油が漏れストーブの残火に引火し燃え広がった	約5年	ストーブが完全に消火しておらず、給油後タンクを抱きかかえストーブ近くまで持っていき、本体にセットしようとしたところ、タンクフタがロックされておらず、ストーブ本体に灯油がかかった		○			愛知県
28	東陶機器(株)	2006/10/24	ふろがま付石油給湯機	BS320AZR-D		器具内一部焼損	約7年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	北海道
29	東陶機器(株)	2006/10/13	石油給湯機	RPH32KSS		器具内一部焼損	約10年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	福岡県
30	東陶機器(株)	2005/8/28	ふろがま付石油給湯機	RPE40KA		器具内一部焼損	約8年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	富山県
31	東陶機器(株)	2005/2/15	ふろがま付石油給湯機	RPE32KSS		器具内一部焼損	約8年	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	石川県
32	東陶機器(株)	2002/09/27	石油給湯機	RPH40KSS		器具内一部焼損	4年5ヶ月	油量調整弁付電磁ポンプの油漏れによるもの	○			リコール製品	奈良県
33	(株)コロナ	- / - / -	石油ファンヒーター	FH-S253DX		ストーブの異常燃焼により、畳を焦がした。	20年以上	宇都宮市中央消防署にて調査中（10日より資料提供した）			○		栃木県

ガス機器の過去の重大製品事故一覧 ガス温水機器 事故発生年月日（年/月/日）の不明箇所は「-」表示。

	社名	事故発生日 (西暦)	品目	ガス種		地 域	給排気方式	型式機種	不燃防 の有無	被害 区分 (注)	事故内容	製品の 使用期間	事故原因			備 考	
				T G	L P G								内容		該当するものに○を入力して下さい		
													製品起因	誤使用ま たは施工 不良	原因不明 または調 査中		
1	リンナイ(株)	2007/3/31	ガスふろがま（給湯付き）	○		東京都	B F 式	RBF-23S （1986年3月製）	無		器具一部焼損	約 2 1 年	ふろがまの追い焚き中にしばらくして機器の上部から出火。ガス事業者が状況確認した結果、機器本体の点火つまみ付近の焼損を確認した。詳細調査中。			○	
2	リンナイ(株)	2007/3/28	ガスふろがま（給湯付き）	○		神奈川県	B F 式	RBF-101S (製造年不明)	無		器具一部焼損、浴室窓ガラスの破損	不明	ふろがまに点火しようとしたところ、異常着火したため機器修理店に修理依頼。ガス事業者が状況確認した結果、ふろがまの一部焼損、浴室窓ガラスの破損を確認。詳細調査中。			○	
3	パロマ工業(株)	2007/3/18	瞬間湯沸器(先止式)	○		兵庫県	C F 式	P H -161M D	無		ボヤ	9年	排気フード部内の油脂受け皿に溜まった油分に火がついてフード部火災		○		
4	(株)ノーリツ	2007/3/15	ガスふろがま(追焚き単機能)		○	東京都	R F 式	GSY-1M	無		家屋焼損	31年	ホースを破断していたため、ガスホースより漏れて引火（消防、警察の説明）。		○		
5	(株)長府製作所	2007/3/4	瞬間湯沸器(先止式)	○		北海道	F E 式	GK-1600KE	無		ガス事業者が現場検証に立ち会ったところ、湯沸器の排気筒が途中で外れていたことから、排気筒の外れ箇所から高濃度の一酸化炭素を含む排気ガスがあふれ、一酸化炭素中毒に至った可能性があると思われる。 3月7日警察による調査の結果、死因は一酸化炭素中毒であることが判明。	4年10ヶ月	屋内排気管の接続部がはずれていた為			○	
6	(株)ノーリツ	2007/2/18	瞬間湯沸器(先止式)	○		神奈川県	F E 式	GQ-2421WZ-HP	無		器具内部焼損	4 年 8 カ月	HPフード内に多量の油が溜まり、フード内の油に引火したと思われる。			○	
7	(株)ノーリツ	2007/2/13	瞬間湯沸器(先止式)	○		東京都	R F 式	GQ-101W	無		器具、壁一部焼損	18年10ヶ月	長期間の使用により、空気不足でドレンが発生し、胴板を腐食され穴空きが発生。	○			
8	パロマ工業(株)	2007/2/12	瞬間湯沸器(先止式)	○		福岡県	C F 式	P H - 12号 A	無し		1名C O中毒死亡	1年	排気設備の不具合に加え使用者誤使用		○		
9	リンナイ(株)	2007/2/7	ガスふろがま（給湯付き）		○	埼玉県	R F 式	YS-RFS-1615USA-A	無		CO中毒1名	約 1 7 年	屋外式給湯器を使用し、入浴中一酸化炭素中毒となる事故が発生。原因については、屋外式給湯器を屋根付きの囲いがある場所（室内と同様の状態）に設置したため、排気が窓の隙間や排水口から浴室へ流入したのではないかと推定。詳細は調査中。		○ （設置不良）		
10	(株)ノーリツ	2007/2/5	瞬間湯沸器(先止式)	○		北海道	F E 式	GQ-1622WD-F	有		器具内部焼損	10年	長期間の使用により、バーナ詰りで火災によりバーナケースに穴空きが発生。	○			
11	パロマ工業(株)	2007/2/3	瞬間湯沸器(先止式)		○	新潟県	C F 式	P H -81M	無		10名C O中毒	4年	排気設備の不具合に加え使用者誤使用		○		
12	東陶機器(株)	2007/2/2	瞬間湯沸器(先止式)		○	大阪府	R F 式	RGH24SBVB	無		器具排気口からの炎あふれ	不明	熱交換器内の埃詰まりによるものと推定		○		経年劣化によるもの。
13	(株)ノーリツ	2007/1/1	瞬間湯沸器(先止式)	○		北海道	F E 式	GQ-1622WD-F	有		器具内部焼損	8年	長期間の使用により、バーナ詰りで火災によりバーナケースに穴空きが発生。	○			

14	(株)ガスター	2005/12/14	ガスふろがま（給湯付き）		○	北海道	B F 式	SR-DP	無	（ ）	機器および室内破損	1年1ヶ月	給湯使用中に供給ガスの一時的な停止により消火、その後、再点火時に機器内に滞留したガスに引火、爆着したと推定。		○ （ガス供給設備の不具合と推定）		追加申請
----	---------	------------	--------------	--	---	-----	-------	-------	---	-----	-----------	-------	--	--	----------------------	--	------

ガス機器の過去の重大製品事故一覧 ガス調理機器 事故発生年月日（年/月/日）の不明箇所は「-」表示。

		事故発生日 (西暦)	品目	ガス種		地 域	型式機種	調理油過熱防止装置の有無	立消え 安全装 置の有 無	被害 区分 (注)	事故内容	製品の 使用期間	事故原因				備 考
				T G	L P G								内 容	該当するものに○を入力して下さい			
														製品起因	誤使用ま たは施工 不良	原因不明 または調 査中	
1	リンナイ(株)	2007/3/24	ガスコンロ		○	北海道	RTS-4500GFE (1998年12月製)	有	有		コンロ火災	約9年	ガステーブルで魚を焼いていたが、火を消し忘れたため出火し、加熱されたガステーブルによってゴム管が焦げた。なお、当該機器は消費者により廃棄されたため、詳細は不明。			○	
2	パロマ工業(株)	2007/3/23	ガス炊飯器		○	高知県	P R -200	-	無		火災	不明	点火スイッチを1～2回操作して点火したところ、炊飯器付近から大きな炎が出た。			○	
3	リンナイ(株)	2007/3/1	ガスコンロ		○	福岡県	RBG-31ABS (製造年不明)	有	有		コンロ火災	不明	消費者が購入したビルトインコンロを販売店が取り付け、その後消費者が着火したところ、コンロ下から出火した。詳細は調査中。			○	
4	リンナイ(株)	2007/2/26	ガスコンロ	○		新潟県	RTS-551G-R (1994年3月製)	無	有		コンロ火災	約13年	テーブルコンロのグリル使用中、コンロ付近から出火。コンロ及び壁の一部を焼損した。詳細調査中。			○	
5	リンナイ(株)	2007/2/24	ガスコンロ		○	北海道	JAK467FX RTS-4600GFS-R (1998年11月製)	有	有		コンロ火災	約9年	ガスコンロ付近から出火し、レンジフード及びゴムホースの一部を焼損した。原因調査中であるが、調整器が圧力異常となりガス栓又はコンロからガスが漏えいしたことも考えられる。			○	
6	日立アプライアンス(株)	2007/2/23	ガスコンロ		○	千葉県	GT-629	無	有		12:00頃被害者がガスコンロのグリル使用後火を消し忘れた。 14:30頃煙が出ているのに気がつき、つまみにより火を消そうとしたが消えないので水をかけて消火した。ガスこんろが焼損し隣接する流し台の一部焦げ、壁面にスス付着。その後窓を開けて換気した。16:30頃グリルの点火確認をしたところ、爆燃し軽い火傷を負った。	不明	グリル消し忘れにより発火し、多量の煮こぼれや食品カスの残存物への引火が重なり器具が焼損。左こんろ器具栓のシール用パッキンが熱で変形して気密保持できず、消火したがガスが漏れ続けている状態で、2時間後にグリルの点火確認をした際に引火・爆燃した。		○		
7	松下電器産業(株)	2007/2/23	ガスコンロ		○	島根県	GT-LS5	無	有		火災全焼	約3年	天ぷら火災		○		
8	リンナイ(株)	2007/2/22	ガスコンロ	○		広島県	RBG-40N-12 (SB-4G-3) (1987年9月製)	無	有		コンロ火災	約18年	コンロ点火時に、コンロ前面パネルの下部から出火、器具内のつまみ一部を溶融した。詳細調査中。			○	
9	パロマ工業(株)	2007/2/8	ガスコンロ		○	岡山県	不明	不明	不明		火災	不明	漏れていたガスに引火して爆発炎上			○	
10	イワタニ・プリムス(株)	2000/1/26	カセットこんろ		○	兵庫	EX-ULT-2A	無	無		ガスボンベと器具の接合部からガスが漏れ、何らかの火種により引火したため投げた。しばらくしてからボンベが爆発し、顔に火傷と腹部に打撲を負った。	不明	器具にボンベを接続する際に、斜めに傾けて接続したため液ガスが噴出した。何らかの火種によって引火したものと思われるが、周囲に火気が無かったので原因は不明。ガス石油機器PLセンターに調査を依頼した。			○	

ガス機器の過去の重大製品事故一覧 ガス暖房機器

事故発生年月日（年/月/日）の不明箇所は「-」表示。

		事故発生日 (西暦)	品目	ガス種		地 域	給排気方 式	型式機種	不燃防 の有無	被害 区分 (注)	事故内容	製品の 使用期間	事故原因				備 考
				T G	L P G								内容	該当するものに○を入力して下さい			
														製品起因	誤使用ま たは施工 不良	原因不明 または調 査中	
1	リンナイ(株)	2007/3/12	ガストーブ		○	北海道	F F 式	RHF-401-FT-1 (1989年製)	無		一酸化炭素中毒となり、病院に搬送された。	約 1 8 年	経年によるパッキンの腐食・排気管のストップリングの欠如、4階（最上階）の為強風による排気トップの揺れなどで排気管がズレていき、排気管が外れたことが原因ではないかと思われる。			○	
2	リンナイ(株)	2007/2/14	ガスファンヒーター		○	埼玉県	開放式	RC-209T	有		ファンヒーターを起こそうと持ったときに爆発延焼した。応接室、台所等を延焼。	不明	事務長の話しでは、ファンヒーターの後ろの壁に約10枚程の絵が立掛けてあり絵が落下しファンヒーターが転倒したと思われる、現場検証で台所の末端ガス栓コックが何者かに外されていた。消防調査中		○		
3	リンナイ(株)	2007/2/14	ガスファンヒーター	○		東京都	開放式	RC-333T-1 (RN-A430FH) (1994年10月製)	有		ファンヒーターの一部を焼損	約 1 3 年	ファンヒーター使用中に背面から出火。ファンヒーターの一部を焼損。消防が詳細調査中。			○	
4	リンナイ(株)	2007/2/10	ガスファンヒーター	○		京都府	開放式	RC-236E、 量販店型式 KN-240E (2006年1月製)	有		ファンヒーターを点火した際に出火し、建物2階西部分を焼失。被害者1名は死亡。1名は軽傷。	約 1 年	ガスファンヒーターを点火した際に出火し、建物2階西部分を焼失。消防が出火原因を調査中。			○	

ガス機器の過去の重大製品事故一覧 その他のガス機器 事故発生年月日（年/月/日）の不明箇所は「-」表示。

		事故発生日 (西暦)	品目	ガス種		地 域	型式機種	調理油過熱防止装置の有無	立消え 安全装 置の有 無	被害 区分 (注)	事故内容	製品の 使用期間	事故原因				備 考
				T G	L P G								内容	該当するものに○を入力して下さい			
														製品起因	誤使用ま たは施工 不良	原因不明 または調 査中	
1	イワタニ・プリムス(株)	2006/1/26	液化石油ガスボン ベ		○	岡山	IP-250T	無	無		海外製のガスランタン に当社ガスボンベを接 続し、テント内で使用 したところ一酸化炭素 中毒死した。	初回	密閉されたテント内で海外製ガス ランタンと当社ガスを接続し使用 したところ一酸化炭素が発生し、 一酸化炭素中毒死した。			○	